

第8回環境学習円卓会議会議録

日時;2010年9月30日 午後7:00～

場所;水俣市役所 秋葉2階ラウンジ

参加者;田中、三村、大嶽、高嶋、草野、池崎

1. 環境モデル都市に関する事業報告

◎「みなまた愛す(アイス)プロジェクト」(食と農と暮らし円卓会議)

9月12日(日)公民館で実施(一般市民6名、食と農と暮らし円卓会議メンバー4名参加)

- ・水俣の食材を使い、ほぼ水俣産のアイスクリームを作った
- ・給食センターの取組や石鹸の話、沢畑館長から市販のアイスクリームとの成分比較の話などして頂いた(地産地消について)
- * 分かりやすく、楽しく進められた

◎エコハウスイベント

今後毎月1回「エコな暮らし方」の講座をしながら、もっと色々な人に来ていただこうと企画している。

《今月のイベント》

9月23日:お月見会

→愛林館から棚カフェが出張。予定していたお団子30個は完売。

9月26日;昼間のエコハウスをまったり体験しよう

→1日展示などがあり、約30名の方がこられた

◎茶飲み場作業部会

9月27日に熊本学園大学の藤本先生とお茶の松本和也さんが、茶飲み場についての話と、自分たち自身でお茶を入れる側、入れてもらう側の体験をした。賑やかな雰囲気でおいしくお茶をいただいたり、意見交換をした。

事務局;アイスプロジェクトは出来栄はともかくよくできたと思う。産業団地まつりは難しいが、フェスタでアイスのお披露目会のようなものができないか?と考えている。アイスクリームを作る際にどうしても電気を使って、CO2が出るので愛林館で炭焼きをしてみようという話が進んでいる。また、炭焼きをしてできた炭を産業団地まつりで皆さんに無料で配ろうという形で話が進んでいる。

A;商品化の方向ですか?

事務局;できれば愛林館やまつぼっくりで販売できればいいが、今回試みて子供向きではなく大人向けなので、子供向けもバリエーションとして必要ではないかな?と思う

A;牛乳黒糖アイスとかも?(大人向け?)

事務局;甘さが控えめで大人な感じ。参加してくれた子どもはこういったのが好きだったからよかった。体験を含めたものもやっていかないといけないと思う

D;他のバージョンもできるの?

事務局;できます。食材を集めるのがちょっと大変なので、どうバリエーションを取っていくのかが今後の課題になると思う。当初の予定は、前日作ったものを食べて当日は体験だけにしようという考えていたが、自分が作ったものを食べてないような感じなので、すぐに出来るものとして、アイスクリームメーカーを使うことにした。電気を使うので、その分をカバーしようという話で炭焼きということになった。

A;資料館に沢山の人が来るので、そこでアイスを売れば1人分位の賃金になるかな?と思う。

ソフトクリームとか。

D ;ソフトクリームは毎日機械を掃除しないといけないから難しいと思う。曾木の滝の温泉に行く
と一個ずつカップに入れて出して(カップが出るからよくないが)、ポットとか一緒において
いる。

事務局;業者に頼んで、配合とか考えてもらってするという方法もあったが、お金がとてめにかかるの
で、工夫をしてください！ということでこういう形になった。

D ;アイスクリームを売るとなると何か許可とかいる？

B ;いると思う

事務局;今許可を持っている愛林館やまつぼっくりで売ってもらうのがいいと思う

D ;カップで売るとなるとどうなの？

事務局;それでもできると思う。円卓会議で話をしてもらいながら、水俣産に拘ったというところを出
していこうと思う

B ;売るとなると保健所の管轄になって、煮沸のこともちゃんとしないといけない

事務局;別件ですが、以前に市報に「水 Do!キャンペーン」の事を載せた。水道を使うことで CO2
を減らそうということで、将来的には熊本市で水を売っているがあれをビンでしようか、という
話が今出ている。

B ;Rビンにすれば、今環境省の事業があるからいいのでは？

事務局;全庁的な話でうちの課が中心で広めていこうかと思っている

D ;寒川の水とか湧水で出ているのはそのままビン詰めで売れない？

B ;26項目があるからそれを全部クリアできていないといけない

事務局;水源は水道局で持っているから取れると思う

2. 紙芝居の内容について

A ;紙芝居に馴染みがない世代なので、今の子に紙芝居が受けるのか分からないが、紙芝居
は喋っている人の方が大事なんじゃないかな？と思う

*ごみレンジャーの動画

事務局; A さんが言われたように、紙芝居じゃなくてもいいのかな？と思う。例えば、マンガで
あっても画面に映すとか、大きくするのはできる。伝える方法の手法の話になる。

C ;今の子はテレビに慣れている。紙芝居は静止画なので、ちょっと馴染まない気がする。
絵のテンポが昔は動くが今は動かないので、動かしてやらないといけない。

A ;前、紙芝居を見てきた。大人ばかりだったが、質問されたりみんなでやりとりができるような
感じでとても面白かったが、そこまでの芸は素人には難しい。

D ;テレビとかで紙芝居がしていると子どもはじ〜っと見ているような気がする。話の内容かもし
れないが。

C ;絵本の読み聞かせに慣れている子は紙芝居も OK だろう

B ;人形劇みたいなのも面白いと思う。園児がすごく夢中になっている。

A ;紙芝居風の動画を作ってみた。「ごみって何だろう？」についてです。これを見ながら対話
できる感じとか。

*「ごみって何だろう？」の動画(A 作)

C ;絵本みたいな感じですよ。言葉も多くなくて、絵もシンプルで。

事務局;これをプロジェクターにつないで、大きくすると何十人も見れる。紙芝居に拘る必要はな
いかな？と思う。マンガを映してもいいと思う。

D ; B さんが言われたように、紙芝居の中に動きをいれると子どもは集中してみようと思う。紙芝居の長さは短くしないといけない。

事務局; いろんなネタがあっていいと思う

A ; 紙芝居は人数の問題もある。教室だと厳しいと思う

C ; 紙芝居を見たからといって結論が入っているわけではないので、いろんな声が出ていいと思う

事務局; 子供たちの声を引き出し、そこから言葉を拾う事が大事だと、学校の先生が話していた。

D ; 今回いくつも示さないで、一つに絞ってするのもいいと思う

B ; 今のやつ (A さん作) は、3 歳 4 歳の子から中学校の子たちまでバージョンアップしてできるし、面白いと思う。

D ; よそから変わって来た子には、前住んでいた所ではごみだったけど・・・という投げかけができる

B ; 小さい子には「ごみって何?」、小学校高学年には「ごみと資源」みたいな感じにするのもいい。大人だって、どれがごみでどれが資源か分からないと思う。現物が出てきて会話ができるのはいいと思う

D ; ごみは自分のものとして捕えてもらわないと。

事務局; 「エコキュア」はほぼ完成に近いですね。これはこれで作ったらいいと思う。「ごみって何?」の中身はもう少し検討しましょうか?

3. 人材マップ及びゼロ・ウェイストの冊子づくりについて

◎人材マップ

事務局; 学校に調査を出してみる。ゲストティーチャーで呼んだとか、こういう人が必要だということを記入いただく。今月間に合わなかったのも、来月出す。教育委員会に持ちかけると、ちょうど同じような調査が県から入っているという事なので、それと併せた形で記入してもらおうと思う。それと、どういう人が必要か? というので、人材マップをしようと思う。

土佐の風 (高知で作っているもの);

文字が多すぎるが、写真でこういうことをしているというのがわかりやすいかな? と思う。少し写真は大きめでしょうかと思う

A ; ただ顔写真でなく、仕事をしている写真とかがいいと思う

D ; 前の顔写真は地域から推薦された人?

事務局; 自治会に言って挙げている。デザイン的なものも必要なのかな? と思う

C ; 人の心を動かすようなデザインが必要だと思う。今まで作っているものは、必要な事だけが並んでいるだけの様な気がする

事務局; 学校には問い合わせをして、データをもらってそれからもう一回調べていこうと思っている

D ; どういう人なんでしょうね?

事務局; 今まで読んだ人をあたりたいと思っている。どういう人が好まれて呼ばれているのか。

C ; 学校はそういう記録とかあるんでしょうかね?

事務局; 今回聞いてみないと分からない

D ; やっぱ実際の仕事に携わっている人が多いですね

事務局; 現場に出かけていって体験させる (職業体験) があるので追加で調べられたらと思う (人はケーキ屋さんと保育園) フェスタに間に合わせたいと思っている。データ集めから入っていきたいと思っている

◎ゼロ・ウェイストの冊子作り

事務局; 50 音の方とは切り離してするという話だった

D ; どういう事をすればゼロ・ウェイストの目指す所にいけるかという具体的な話が必要だと思う

事務局; 折角調査などもしているので、調査結果をお知らせしたいと思う。あまり急いであるより、

考える時間が必要かと思う。今年は現状調査という形でしてる部分もある。ステーション調査は一般の方との座談会で意見を聞く場があるので、そこで意見を聞いてからがいいのかと思う

D ;結構みんな積極的(前した人も参加したり困ったことをまとめたり)だと思う

事務局;冊子はもう一度次回やります

A ;デザイン的な部分は外部にお願いできないか?やはり素人とは全然違うと思う

事務局;デザイナーさんがいないか、いろいろ伝手をあたれないかと思う

D ;どうせ作るなら人材マップだけでなく、総合的なものも作りたい

事務局;うちでやっているような事はたくさんあるが、差は売り出し方・デザインだと思う。そこがうちでは足りないと思う

D ;人材マップのネタは思いつく人を私達も出せばいいと思う。推進員会とかでも、紙を渡して書いてもらえばいいと思う

4. その他

◎エコテクノ

事務局;10月13日～15日まで北九州の環境展示会(エコテクノ2010)に出展する。水俣からは環境モデル都市(水俣市)と田中商店が出展する。パンフレットなど配布できるようなものがあれば、10月8日に発想予定なので、それまでにお持ち頂ければ配布できる。出展ブースは環境省の「チャレンジ25キャンペーン地域展示会」のところです。毎年出していて、企業関係の紹介ばかりだったが、今回初めて環境モデル都市という打ち出し方をしたので、何でもOKにしようという軽い感じ。去年、水俣のイメージについてのアンケート調査をしたが、またアンケートも実施する予定。パネルは今やっている事や市民の取組、チラシの部分で企業の事を出す。水俣は色々あるので、それぞれ興味を持ってこられたことについて話をしていきたいと思う。

次回日程;2010年10月28日 19:00～